



2019年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月12日

上場会社名 株式会社 長大

上場取引所 東

コード番号 9624 URL <http://www.chodai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永冶 泰司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員経営企画本部長 (氏名) 塩釜 浩之

TEL 03-3639-3301

四半期報告書提出予定日 2019年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第1四半期の連結業績(2018年10月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第1四半期	2,942	6.4	332		351		283	
2018年9月期第1四半期	3,143	17.2	640		642		475	

(注) 包括利益 2019年9月期第1四半期 327百万円 (%) 2018年9月期第1四半期 434百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第1四半期	32.52	
2018年9月期第1四半期	53.88	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第1四半期	24,811	12,412	49.6
2018年9月期	23,897	13,051	54.2

(参考) 自己資本 2019年9月期第1四半期 12,312百万円 2018年9月期 12,946百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期		0.00		36.00	36.00
2019年9月期					
2019年9月期(予想)		0.00		33.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,100	0.4	2,050	19.9	2,030	18.3	1,150	7.4	131.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期1Q	9,416,000 株	2018年9月期	9,416,000 株
期末自己株式数	2019年9月期1Q	688,605 株	2018年9月期	707,305 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年9月期1Q	8,719,945 株	2018年9月期1Q	8,817,890 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
3. その他	7
受注及び販売の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の財政諸政策による景気の下支えにより雇用・所得環境の改善が進み緩やかな成長基調で推移しましたが、米国経済や中国経済の不透明感やそれらに起因する株価の下落など、依然として景気の先行き不安な状態が続いています。

当社グループを取り巻く建設コンサルタント業界の市場環境は、昨年12月に平成30年度補正予算が成立し、本予算と合わせ6.8兆円とここ数年でも高い公共事業関係費が確保されるなど、比較的堅調に推移しています。併せて平成31年度予算も公共事業関係費が6.9兆円確保されるなど、次年度も建設業界全体の市場は堅調に推移するものと推測されます。これらの背景には、防災・減災、国土強靱化への備えやICTの活用による建設産業全体の効率化、活性化などがあげられ、これらの実現に向けた建設コンサルタントに対する期待は依然として高い状況にあります。

このような状況の下、当社グループは、第50期から新中期経営計画「長大持続成長プラン2016」（2016年10月～2019年9月）をスタートさせ、その最終年にあたる第52期はビジョンである「顧客および株主に信頼される企業」、「持続的成長を維持する安定経営企業」、「多様な能力の人材とダイバーシティを活かす企業」、「事業執行の改革を進める企業」を積極的に推進しております。

当第1四半期連結累計期間における当社グループ全体の業績といたしましては、受注高は60億27百万円(前年同四半期連結累計期間比10.9%減)、売上高は29億42百万円(前年同四半期連結累計期間比6.4%減)となりました。

利益面では、営業損失3億32百万円(前年同四半期連結累計期間6億40百万円の営業損失)、経常損失3億51百万円(前年同四半期連結累計期間6億42百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失2億83百万円(前年同四半期連結累計期間4億75百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

また、当社グループの売上高は、受注の大半が官需という特性により、第2四半期以降に偏る傾向があります。

セグメントごとの概況は次のとおりであります。

[コンサルタント事業]

当第1四半期連結累計期間の状況は、受注高57億30百万円(前年同四半期連結累計期間比9.0%減)、売上高27億34百万円(前年同四半期連結累計期間比9.0%減)となりました。

[サービスプロバイダ事業]

当第1四半期連結累計期間の状況は、受注高1億91百万円(前年同四半期連結累計期間比51.7%減)、売上高93百万円(前年同四半期連結累計期間比35.5%増)となりました。

[プロダクツ事業]

当第1四半期連結累計期間の状況は、受注高1億5百万円(前年同四半期連結累計期間比54.3%増)、売上高1億14百万円(前年同四半期連結累計期間比63.5%増)となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年1月31日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,615	5,873
受取手形及び完成業務未収入金	3,530	2,422
未成業務支出金	5,627	8,254
原材料及び貯蔵品	1	3
その他	169	229
貸倒引当金	△36	△36
流動資産合計	15,907	16,745
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,470	1,451
土地	2,026	2,026
リース資産（純額）	74	58
その他（純額）	331	358
有形固定資産合計	3,902	3,894
無形固定資産		
その他	257	248
無形固定資産合計	257	248
投資その他の資産		
投資有価証券	674	627
差入保証金	534	537
保険積立金	607	608
繰延税金資産	1,531	1,633
その他	481	516
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,830	3,923
固定資産合計	7,989	8,065
資産合計	23,897	24,811

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
業務未払金	1,257	1,044
短期借入金	—	2,800
1年内返済予定の長期借入金	100	100
リース債務	48	38
未払法人税等	412	28
未払消費税等	333	16
未払費用	1,356	811
未成業務受入金	2,443	3,211
賞与引当金	703	107
役員賞与引当金	37	—
受注損失引当金	533	219
その他	408	809
流動負債合計	7,634	9,188
固定負債		
長期借入金	566	541
リース債務	33	25
退職給付に係る負債	2,609	2,629
その他	1	14
固定負債合計	3,211	3,210
負債合計	10,846	12,398
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,107	3,107
資本剰余金	4,884	4,884
利益剰余金	5,122	4,514
自己株式	△349	△335
株主資本合計	12,764	12,171
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	93	51
為替換算調整勘定	12	15
退職給付に係る調整累計額	76	74
その他の包括利益累計額合計	181	140
非支配株主持分	104	100
純資産合計	13,051	12,412
負債純資産合計	23,897	24,811

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)
売上高	3,143	2,942
売上原価	2,299	1,765
売上総利益	843	1,176
販売費及び一般管理費	1,484	1,508
営業損失(△)	△640	△332
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	2
受取家賃	4	3
雑収入	7	6
営業外収益合計	15	13
営業外費用		
支払利息	10	10
為替差損	1	22
雑損失	4	0
営業外費用合計	17	32
経常損失(△)	△642	△351
税金等調整前四半期純損失(△)	△642	△351
法人税、住民税及び事業税	39	31
法人税等調整額	△207	△95
法人税等合計	△168	△64
四半期純損失(△)	△474	△286
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△3
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△475	△283

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)
四半期純損失(△)	△474	△286
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29	△41
為替換算調整勘定	4	3
退職給付に係る調整額	6	△2
その他の包括利益合計	40	△40
四半期包括利益	△434	△327
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△436	△324
非支配株主に係る四半期包括利益	2	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

3. その他

受注及び販売の状況

(1) 受注状況

当第1四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	前年同四半期比 (%)	受注残高	前年同四半期比 (%)
コンサルタント事業	5,730	91.0	24,155	102.7
サービスプロバイダ事業	191	48.3	946	76.3
プロダクツ事業	105	154.3	555	105.4
合計	6,027	89.1	25,656	101.5

(注) 金額は販売価格によっており、消費税等が含まれておりません。

(2) 販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	前年同四半期比 (%)
コンサルタント事業	2,734	91.0
サービスプロバイダ事業	93	135.5
プロダクツ事業	114	163.5
合計	2,942	93.6

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. セグメント間の取引については相殺消去しております。